

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー

新興国ハイインカム株式ファンド

米ドル建 毎月分配型 クラスM受益証券

ルクセンブルグ籍契約型外国投資信託

運用報告書

(全体版)

作成対象期間
第 16 期

(自:2022年 1 月 1 日)
(至:2022年12月31日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド(以下「トラスト」といいます。)のサブ・
ファンドである新興国ハイインカム株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、
このたび、第16期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後
とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社

ピクテ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)エス・エイ

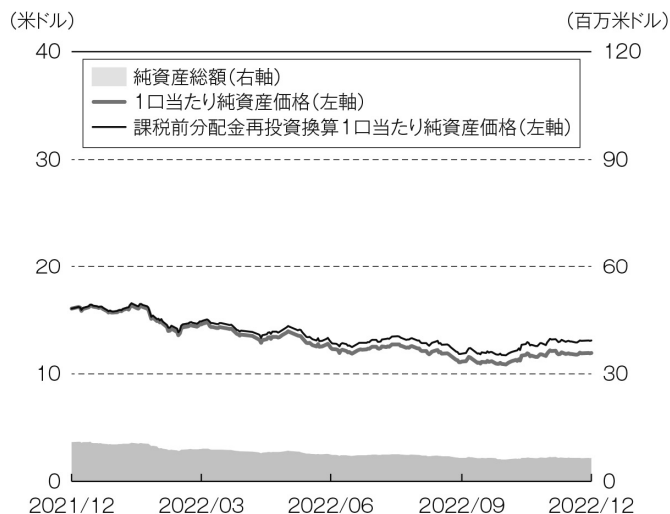
ファンドの仕組みは次のとおりです。

ファンド形態	ルクセンブルグ籍契約型公募外国投資信託
信託期間	無期限
繰上償還	<p>① 管理会社と保管受託銀行との間の合意により、いつでもトラストを解散し、またはファンドをいつでも清算することができます。</p> <p>② ファンドの純資産が300万米ドルを下回った場合、管理会社は、当該ファンドを解散する予定です。</p> <p>③ 受益証券の純資産総額が1,500万米ドルを下回った場合、管理会社の取締役会は、受益証券を強制的に買い戻すことを決定することができます。</p>
運用方針	<p>ファンドの目的は、主として、新興国に拠点を置き、かつ／または新興国において主な活動を行う企業により発行される世界の高配当利回りの株式および株式関連証券（転換社債など）に投資することにより、安定した分配金を支払うことです。第二の目的は、投資元本の長期的な成長を達成することです。</p>
主要投資対象	主として、新興国の高配当利回りの株式
ファンドの運用方法	<p>ファンドは、特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します。ファンドは、幅広い投資対象から、魅力的な高配当利回り銘柄に絞り込み投資を行います。</p>
主な投資制限	<p>① 管理会社は、同一発行体の有価証券のファンドの保有が、ファンドの純資産総額の10%を超える場合は、ファンドのために、当該発行体の発行する有価証券に投資することができません^(注)。</p> <p>② 上記①にかかわらず、投資運用会社は、ファンドのために、通常、単一の発行体の有価証券につき5%を超えて取得しません。</p> <p>③ 管理会社は、ファンドのために、公認の証券取引所または他の規制ある市場で取引されていない有価証券にファンドの純資産総額の10%を超えて投資してはなりません^(注)。かかる制限は短期金融商品には適用されません。</p> <p>④ 日本証券業協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とします。</p> <p>(注) ①および③の制限は、EU加盟国、経済協力開発機構加盟国もしくはその地方公共団体またはEUの公的国際機関（地域内か、または世界的規模かを問いません。）が発行または保証する有価証券には適用されません。</p> <p>この他の投資制限については目論見書をご覧ください。</p>
分配方針	<p>管理会社は、毎月、投資による純利益および純実現キャピタル・ゲインから分配を行うことができ、分配の合理的水準を維持するために必要な場合、未実現キャピタル・ゲインおよび資本からも分配を行うことができます。分配は、毎月、各月の5日（5日が取引日ではない場合は翌取引日）の営業終了時に、受益者に対して宣言される予定です。</p>

I. 運用の経過等

(1) 当期の運用の経過および今後の運用方針

■ 1口当たり純資産価格等の推移について



第15期末の1口当たり純資産価格：	16.08米ドル
第16期末の1口当たり純資産価格：	11.95米ドル
第16期中の1口当たり分配金合計額：	1.20米ドル
騰落率：	-18.53%

- * 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。
- * 1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。
- * 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- * 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- * ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期のファンドの絶対リターンにプラスに寄与したのは、素材、不動産および生活必需品の組入れでした。一方で、情報技術、金融およびエネルギーがマイナス寄与となりました。国別では、ブラジル、メキシコおよびアラブ首長国連邦の組入れが絶対リターンに大きく寄与しましたが、貢献度の低いロシア、台湾および韓国により、これが緩和されました。

■分配金について

当期（2022年1月1日～2022年12月31日）の1口当たり分配金（税引前）は下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産 価格比率(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額(注2)
2022年1月6日	15.87	0.10 (0.63%)	-0.07
2022年2月8日	15.99	0.10 (0.62%)	0.22
2022年3月8日	14.01	0.10 (0.71%)	-1.88
2022年4月6日	14.46	0.10 (0.69%)	0.55
2022年5月10日	13.23	0.10 (0.75%)	-1.13
2022年6月8日	13.55	0.10 (0.73%)	0.42
2022年7月6日	11.94	0.10 (0.83%)	-1.51
2022年8月8日	12.51	0.10 (0.79%)	0.67
2022年9月6日	11.94	0.10 (0.83%)	-0.47
2022年10月6日	11.51	0.10 (0.86%)	-0.33
2022年11月8日	11.20	0.10 (0.88%)	-0.21
2022年12月6日	11.92	0.10 (0.83%)	0.82

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率 (\%)} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2022年1月6日の直前の分配落日（2021年12月7日）における1口当たり純資産価格は、16.04米ドルでした。

■投資環境について

2022年は地政学的な緊張、世界的な景気後退懸念やインフレ率の急上昇に象徴される1年でした。インフレ率が先進国市場で大幅に上昇し、新興国市場に波及効果を及ぼしています。米連邦準備制度理事会（FRB）は2022年に約40年前のボルカー時代以来の速いペースでの利上げを行い、1980年代以来の高い水準までドル高が進みました。

また、ロシアとウクライナ間の紛争、各中央銀行による重視すべき動向や新型コロナウイルス対策等の他の要因も、2022年の新興国市場への大きな重しになりました。

当期はロシアとウクライナ間の紛争の発生により政治的な不透明感が生じて市場が大きく変動するなど、期初から非常に厳しい状況に見舞われました。ロシアが国際銀行間通信協会（SWIFT）から除外され制裁措置を課された結果、外国人投資家がロシア市場に参入できなくなりました。このような状況下、原油価格が高騰し、インフレ圧力が世界的に高まり、中南米等のコモディティ市場が恩恵に浴しました。

第2四半期までに、消費者の需要減退や半導体製品の受注減に見舞われる中、韓国や台湾等のテクノロジー分野の占有率が高い市場がインフレ懸念の影響で苦戦を強いられました。米国の中国に対する輸入関税見直しの憶測や、中国が経済活動を再開し始めるとの見通しを受けて、経済活動の再開の恩恵を受ける銘柄が値上がりしました。それにもかかわらず、世界的な景気後退懸念が中南米に大きな影を落とし、域内全体の通貨安やコモディティ価格の先行き懸念の表面化が響いて当四半期のリターン为重しとなりました。東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国とインドでは、財政赤字やエネルギーの輸入国であるという性質が嫌気され、海外からの資金が流出しました。

投資家は6月の一時的な反発の後で第3四半期に中国における利益を確定しました。センチメントは依然として低く、不動産セクターを巡る問題の深刻化を受けてボラティリティが高止まりしました。6月には住宅ローンの返済を停止する動きがありましたが、その後、中国人民銀行総裁が今後の国内経済を支援すると確認したことから、同月に生じたこれらの損失の一部を回復しました。

国内投資家と国内投資家からの資金流入が、当期を通じてインド株式への力強い追い風になりました。第3四半期に入ると、ドル安と好調な企業業績を追い風に外国人投資家が買い越しに転じました。資金流出が9か月間続いた後、初めて資金流入に転じた月となりました。

第3四半期は第2四半期同様に、ハイテク需要の減退や業績の低下が響いて、韓国と台湾の見通しが終始リターンを低下させました。

第20回党大会は当初精彩を欠いていましたが、第4四半期末にかけて、中国は予想以上に早期に、かつ急ピッチで、漸く経済活動を再開し始めました。また、プラットフォーム経済（ITに基づく新しい経済形態）への規制圧力が緩和されつつあることを示唆する段階的な兆しや、中国の不動産セクター内の方針が見直され、不動産市場の安定と支援のための16項目の支援策が発表されたことを市場が歓迎しました。一方、世界の経済成長の不透明感の長期化やインフレ懸念により、投資家心理は依然として強弱交錯でした。

■ポートフォリオについて

当期のファンドはMSCIエマージング・マーケット・インデックスのリターンを上回りました。

ファンドの運用プロセスに即して行った銘柄選択と配分効果が、当期を通じて相対リターンを押し上げました。

素材、情報技術および不動産の銘柄選択が好調でした。素材においては、ファーティグロブとヴァーレのポジションがリターンに寄与しました。ファーティグロブは、肥料製品の製造に使用される主要材料である窒素およびクリーンアンモニアを比較的低コストで輸出しています。同社は長期契約によるコスト上の優位性や「クリーンアンモニア」にいち早く移行したことを生かし、当期を通じて好業績を収めました。

当期最も不調だったのは金融セクターで、同セクターへの配分効果は高かったものの銘柄選択が不振でした。ロシアとウクライナ間の紛争により、ロシアの銀行であるズベルバンク、カザフスタンの銀行であるカスピとハルクの組入れが主にパフォーマンスを悪化させました。カザフスタンは直接的な関わりはなかったものの、同国と密接な関係にあったことからこれらの銘柄が影響を受けました。

■投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における有価証券の主な銘柄については、後記「Ⅲ. ファンドの経理状況 (3) 投資有価証券明細表等」をご参照ください。

■今後の運用方針

引き続き、主として、新興国に拠点を置き、かつ／または新興国において主な活動を行う企業により発行される世界の高配当利回りの株式および株式関連証券（転換社債など）に投資することにより、安定した分配金を支払うこと、および、第二の目的として投資元本の長期的な成長を達成することを目的に運用を行っていく方針です。

(2) 費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬 (投資運用報酬を含みます。)	平均純資産総額の年率0.75%	ファンドの投資についての助言業務およびファンドの日々の運用業務
業務報酬	平均純資産総額の年率0.10%	ファンド資産の運用・管理、受益証券の発行・買戻しならびにファンドに関する登録・名義書換、管理および支払事務代行業務
保管報酬	平均純資産総額の年率0.25%	ファンドの資産の保管業務
販売報酬	関係する四半期における平均純資産総額の年率0.70%	口座内でのファンドの管理および事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等
代行協会員報酬	関係する四半期における平均純資産総額の年率0.10%	1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を販売会社に交付する等の業務
その他の費用 (当期)	0.39%	監査費用およびその他の費用、未払年次税、取引手数料等

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

Ⅱ. 直近10期の運用実績

(1) 純資産の推移

＜米ドル建 毎月分配型 クラスM受益証券＞

下記各会計年度末および第16会計年度中における各月末の純資産の推移は次のとおりです。

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	米ドル	千円	米ドル	円
第7会計年度末 (2013年12月31日)	124,682,675.00	16,648,878	55.25	7,378
第8会計年度末 (2014年12月31日)	96,973,799.87	12,948,911	38.03	5,078
第9会計年度末 (2015年12月31日)	47,346,179.52	6,322,135	20.27	2,707
第10会計年度末 (2016年12月31日)	31,221,267.20	4,168,976	18.40	2,457
第11会計年度末 (2017年12月31日)	41,271,319.96	5,510,959	19.24	2,569
第12会計年度末 (2018年12月31日)	17,840,897.37	2,382,295	14.25	1,903
第13会計年度末 (2019年12月31日)	20,232,575.63	2,701,656	16.43	2,194
第14会計年度末 (2020年12月31日)	17,949,300.60	2,396,770	15.95	2,130
第15会計年度末 (2021年12月31日)	10,994,024.64	1,468,032	16.08	2,147
第16会計年度末 (2022年12月31日)	6,522,859.70	870,997	11.95	1,596
2022年1月末日	10,330,551.00	1,379,438	15.75	2,103
2月末日	9,763,662.92	1,303,742	14.92	1,992
3月末日	9,053,086.50	1,208,859	14.61	1,951
4月末日	8,414,355.10	1,123,569	13.66	1,824
5月末日	8,537,136.85	1,139,964	13.97	1,865
6月末日	7,448,835.00	994,643	12.45	1,662
7月末日	7,482,116.40	999,087	12.54	1,674
8月末日	7,362,881.20	983,166	12.38	1,653
9月末日	6,566,250.20	876,791	11.14	1,488
10月末日	6,123,229.20	817,635	10.89	1,454
11月末日	6,761,041.02	902,802	12.06	1,610
12月末日	6,522,859.70	870,997	11.95	1,596

(注) 米ドルの円換算額は、2023年3月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝133.53円）によります。以下同じです。

(2) 分配の推移

<米ドル建 毎月分配型 クラスM受益証券>

	1口当たり分配金	
	米ドル	円
第7会計年度 (2013年1月1日～ 2013年12月31日)	13.80	1,843
第8会計年度 (2014年1月1日～ 2014年12月31日)	13.80	1,843
第9会計年度 (2015年1月1日～ 2015年12月31日)	12.30	1,642
第10会計年度 (2016年1月1日～ 2016年12月31日)	3.80	507
第11会計年度 (2017年1月1日～ 2017年12月31日)	3.60	481
第12会計年度 (2018年1月1日～ 2018年12月31日)	2.60	347
第13会計年度 (2019年1月1日～ 2019年12月31日)	1.20	160
第14会計年度 (2020年1月1日～ 2020年12月31日)	1.20	160
第15会計年度 (2021年1月1日～ 2021年12月31日)	1.20	160
第16会計年度 (2022年1月1日～ 2022年12月31日)	1.20	160

(3) 販売及び買戻しの実績

＜米ドル建 毎月分配型 クラスM受益証券＞

下記会計年度における販売および買戻しの実績ならびに下記会計年度末日現在の発行済口数は、次のとおりです。

会計年度	販売口数	買戻口数	発行済口数
第7会計年度	2,007,664 (2,007,664)	3,177,876 (3,177,876)	2,256,700 (2,256,700)
第8会計年度	1,327,648 (1,327,648)	1,034,419 (1,034,419)	2,549,929 (2,549,929)
第9会計年度	1,197,003 (1,197,003)	1,411,156 (1,411,156)	2,335,776 (2,335,776)
第10会計年度	295,658 (295,658)	934,626 (934,626)	1,696,808 (1,696,808)
第11会計年度	1,309,345 (1,309,345)	861,074 (861,074)	2,145,079 (2,145,079)
第12会計年度	289,080 (289,080)	1,182,559 (1,182,559)	1,251,600 (1,251,600)
第13会計年度	100,830 (100,830)	120,989 (120,989)	1,231,441 (1,231,441)
第14会計年度	70,230 (70,230)	176,323 (176,323)	1,125,348 (1,125,348)
第15会計年度	18,420 (18,420)	460,060 (460,060)	683,708 (683,708)
第16会計年度	1,280 (1,280)	139,142 (139,142)	545,846 (545,846)

(注) () の数は本邦内における販売、買戻しおよび発行済口数です。

Ⅲ. ファンドの経理状況

- a. ファンドの直近会計年度の日本文の財務書類は、ルクセンブルグにおける法令に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものである（ただし、円換算部分を除く。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式および作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用によるものである。
- b. ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるデロイト・オーディット・ソシエテ・ア・レスポンサビリテ・リミテから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されている。
- c. ファンドの原文の財務書類は日本円および米ドルで表示されている。日本文の財務書類には、主要な金額について円換算額が併記されている。日本円への換算には、株式会社三菱UFJ銀行の2023年3月31日現在における対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=133.53円）が使用されている。

公認の監査人の報告書

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド

(複数のサブ・ファンドを有するアンブレラ型のFCP(契約型共同投資信託))の受益者各位

ルクセンブルグ L-1855 ジェイ・エフ・ケネディ通り15番

監査意見

我々は、ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド(以下「ファンド」という。)および各サブ・ファンドの2022年12月31日現在の純資産計算書、投資有価証券およびその他の純資産明細表、ならびに同日に終了した年度の運用計算書および純資産変動計算書、重要な会計方針の要約を含む財務書類に対する注記で構成される本財務書類を監査した。

我々の意見では、添付の財務書類は、財務書類の作成および表示に関するルクセンブルグの法令上の要件に準拠して、ファンドおよび各サブ・ファンドの2022年12月31日現在の財務状態、ならびに同日に終了した年度の運用実績および純資産の変動について真実かつ公正に表示しているものと認める。

意見の根拠

我々は、ルクセンブルグの金融監督委員会(以下「CSSF」という。)が採用した監査人に関する2016年7月23日の法律(以下「2016年7月23日法」という。)および国際監査基準(以下「ISAs」という。)に準拠して監査を行った。ルクセンブルグのCSSFが採用した2016年7月23日法およびISAの下での我々の責任については、「財務書類の監査に関する「公認の監査人」の責任」の項において詳述されている。我々はまた、財務書類に対する我々の監査に関する倫理上の要件に従いつつ、ルクセンブルグのCSSFが採用した国際会計士倫理基準審議会により発行された国際独立基準を含む、職業会計士の国際倫理規程(以下「IESBA規程」という。)に従ってファンドから独立した立場にあり、これらの倫理上の要件の下で他の倫理的な義務を果たしている。我々は、我々が入手した監査証拠が監査意見表明のための基礎を得るのに十分かつ適切であると判断している。

その他の情報

ファンドの管理会社の取締役会は、年次報告書を構成するその他の情報(財務書類およびそれに対する我々の「公認の監査人」の報告書は含まれない。)に関して責任を負う。

財務書類に対する我々の意見は、その他の情報を対象としておらず、我々は、その他の情報に対していかなる形式の結論の保証も表明しない。

財務書類の監査に関する我々の責任は、その他の情報を精読し、当該情報が、財務書類または我々が監査で入手した知識と著しく矛盾していないか、もしくは重要な虚偽表示があると思われるかについて検討することである。我々が実施した調査に基づき、当該情報に重要な虚偽表示があるという結論に達した場合、我々はその事実を報告する義務がある。この点に関し、我々に報告すべき事項はない。

財務書類に対するファンドの管理会社の取締役会の責任

ファンドの管理会社の取締役会は、財務書類の作成および表示に関するルクセンブルグの法令上の要件に準拠して、当財務書類の作成および公正表示、ならびに不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、重要な虚偽表示がない財務書類を作成するために必要であるとファンドの管理会社の取締役会が決定する内部統制に関して責任を負う。

財務書類の作成において、ファンドの管理会社の取締役会は、ファンドが継続企業として存続する能力を評価し、ファンドの管理会社の取締役会がファンドの清算または運用の中止を意図している、もしくは現実的にそれ以外の選択肢がない場合を除き、継続企業の前提に関する事象を適宜開示し、継続企業の会計基準を使用する責任を負う。

財務書類の監査に関する「公認の監査人」の責任

我々の監査の目的は、不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、財務書類に全体として重要な虚偽表示がないかどうかにつき合理的な保証を得ること、および監査意見を含む「公認の監査人」の報告書を発行することである。合理的な保証は高度な水準の保証ではあるが、2016年7月23日法およびルクセンブルクのCSSFが採用したISAsに準拠して行われる監査が、重要な虚偽表示を常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は不正または誤謬により生じることがあり、重要とみなされるのは、単独でまたは全体として、当該財務書類に基づく利用者の経済的意思決定に影響を及ぼすことが合理的に予想される場合である。

2016年7月23日法およびルクセンブルクのCSSFが採用したISAsに準拠した監査の一環として、監査中、我々は専門的判断を下し、職業的懐疑心を保っている。また、以下も実行する。

- ・不正または誤謬のいずれに起因するかを問わず、財務書類の重要な虚偽表示のリスクを認識および評価し、それらのリスクに対応する監査手続を策定および実行し、我々の監査意見表明のための基礎として十分かつ適切な監査証拠を得る。不正による重要な虚偽表示は共謀、偽造、意図的な削除、不正表示または内部統制の無効化によることがあるため、誤謬による重要な虚偽表示に比べて、見逃すリスクはより高い。
- ・ファンドの内部統制の有効性についての意見を表明するためではなく、状況に適した監査手続を策定するために、監査に関する内部統制についての知識を得る。
- ・使用される会計方針の適切性ならびにファンドの管理会社の取締役会が行った会計上の見積りおよび関連する開示の合理性を評価する。
- ・ファンドの管理会社の取締役会が継続企業的前提の会計基準を採用した適切性および、入手した監査証拠に基づき、ファンドが継続企業として存続する能力に重大な疑義を生じさせる可能性のある事象または状況に関連する重要な不確実性の有無について結論を下す。重要な不確実性が存在するという結論に達した場合、我々は、「公認の監査人」の報告書において、財務書類における関連する開示に対して注意喚起し、当該開示が不十分であった場合は、監査意見を修正する義務がある。我々の結論は、「公認の監査人」の報告書の日付までに入手した監査証拠に基づく。しかし、将来の事象または状況が、ファンドまたはいずれかのサブ・ファンドが継続企業として存続しなくなる原因となることがある。
- ・開示を含む財務書類の全体的な表示、構成および内容について、また、財務書類が、適正表示を実現する方法で対象となる取引および事象を表しているかについて評価する。

我々は統治責任者に、特に、計画した監査の範囲および実施時期、ならびに我々が監査中に特定した内部統制における重大な不備を含む重大な監査所見に関して報告する。

デロイト・オーディットの公認の監査人を代表して

ニコラス・エンヌベール、公認の監査人
パートナー

2023年3月27日

Report of the Réviseur d'Entreprises Agréé

To the Unitholders of
Pictet Global Selection Fund
Luxembourg Mutual Investment Umbrella Fund FCP (Fonds Commun de Placement) with multiple sub-funds
15, avenue J.F. Kennedy, L-1855 Luxembourg

Opinion

We have audited the financial statements of Pictet Global Selection Fund (the "Fund") and of each of its sub-funds, which comprise the statement of net assets and the statement of investments and other net assets as at December 31, 2022 and the statement of operations and changes in net assets for the year then ended, and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion, the accompanying financial statements give a true and fair view of the financial position of the Fund and of each of its sub-funds as at December 31, 2022, and of the results of their operations and changes in their net assets for the year then ended in accordance with Luxembourg legal and regulatory requirements relating to the preparation and presentation of the financial statements.

Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with the Law of July 23, 2016 on the audit profession ("Law of July 23, 2016") and with International Standards on Auditing (ISAs) as adopted for Luxembourg by the *Commission de Surveillance du Secteur Financier* ("CSSF"). Our responsibilities under the Law of July 23, 2016 and ISAs as adopted for Luxembourg by the CSSF are further described in the "Responsibilities of the *réviseur d'entreprises agréé*" for the Audit of the Financial Statements" section of our report. We are also independent of the Fund in accordance with the International Code of Ethics for Professional Accountants, including International Independence Standards, issued by the International Ethics Standards Board for Accountants ("IESBA Code") as adopted for Luxembourg by the CSSF together with the ethical requirements that are relevant to our audit of the financial statements, and have fulfilled our other ethical responsibilities under those ethical requirements. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Other information

The Board of Directors of the Fund's Management Company is responsible for the other information. The other information comprises the information stated in the annual report but does not include the financial statements and our report of the *réviseur d'entreprises agréé* thereon.

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report this fact. We have nothing to report in this regard.



Report of the Réviseur d'Entreprises Agréé (continued)

Responsibilities of the Board of Directors of the Fund's Management Company for the Financial Statements

The Board of Directors of the Fund's Management Company is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with Luxembourg legal and regulatory requirements relating to the preparation and presentation of the financial statements, and for such internal control as the Board of Directors of the Fund's Management Company determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, the Board of Directors of the Fund's Management Company is responsible for assessing the Fund's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the Board of Directors of the Fund's Management Company either intends to liquidate the Fund or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Responsibilities of the "réviseur d'entreprises agréé" for the Audit of the Financial Statements

The objectives of our audit are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue a report of the "réviseur d'entreprises agréé" that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with the Law dated July 23, 2016 and with ISAs as adopted for Luxembourg by the CSSF will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with the Law dated July 23, 2016 and with ISAs as adopted for Luxembourg by the CSSF, we exercise professional judgment and maintain professional skepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Fund's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the Board of Directors of the Fund's Management Company.
- Conclude on the appropriateness of the Board of Directors of the Fund's Management Company use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Fund's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our report of the "réviseur d'entreprises agréé" to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our report of the "réviseur d'entreprises agréé". However, future events or conditions may cause the Fund or any of its sub-funds to cease to continue as a going concern.



Report of the Réviseur d'Entreprises Agréé (continued)

- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

For Deloitte Audit, *Cabinet de révision agréé*



Nicolas Hennebert

Nicolas Hennebert, *Réviseur d'Entreprises Agréé*
Partner

March 27, 2023

(1) 貸借対照表

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド

純資産計算書

2022年12月31日現在

(単位：日本円)

日本円

資産

投資有価証券取得原価（注2）	81,029,386,283.00
投資にかかる未実現純利益／（損失）	1,365,551,323.00
投資有価証券時価評価額（注2）	82,394,937,606.00

現金預金（注2）	1,521,684,919.00
銀行預金（注2）	0.00
未収利息、純額	0.00
為替先渡契約にかかる未実現純利益（注2、12）	0.00
その他の資産	204,984,172.00
	84,121,606,697.00

負債

未払管理報酬および投資運用報酬（注4）	29,559,297.00
未払年次税（注3）	2,223,398.00
為替先渡契約にかかる未実現純損失（注2、12）	0.00
その他の未払報酬（注7）	27,619,892.00
	59,402,587.00

2022年12月31日現在純資産合計	84,062,204,110.00
2021年12月31日現在純資産合計	107,297,737,097.00
2020年12月31日現在純資産合計	126,425,838,157.00

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

(2) 損益計算書

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド

運用計算書および純資産変動計算書

2022年12月31日終了年度

(単位：日本円)

	日本円
期首現在純資産価額	107,297,737,097.00
収益	
配当金、純額(注2)	6,149,566,403.00
債券利息、純額(注2)	11,372,935.00
預金利息	13,219,356.00
	6,174,158,694.00
費用	
管理報酬および投資運用報酬(注4)	380,921,367.00
保管受託報酬、銀行手数料および利息	241,109,754.00
管理事務代行、業務、監査およびその他の費用(注6)	145,293,225.00
未払年次税(注3)	9,495,907.00
取引手数料(注2)	268,244,670.00
	1,045,064,923.00
投資純利益	5,129,093,771.00
以下にかかる実現純利益／(損失)：	
投資対象売却(注2、14)	7,136,739,004.00
外国為替(注2)	433,634,388.00
オプション契約	0.00
為替先渡契約	(60,471,425.00)
先物契約(注2)	0.00
実現純利益／(損失)	12,638,995,738.00
以下にかかる未実現純評価利益／(損失)の変動：	
投資(注2、15)	(18,087,099,030.00)
オプション契約	0.00
為替先渡契約	0.00
運用による純資産の増加／減少	(5,448,103,292.00)
受益証券発行手取額	3,716,792,705.00
受益証券買戻費用	(16,614,514,521.00)
配当金支払(注2、13)	(4,889,707,879.00)
再評価差異*	0.00
期末現在純資産価額	84,062,204,110.00

* 上述の差異は、2021年12月31日から2022年12月31日までの間の、サブ・ファンドの通貨以外の通貨建ての投資証券クラスに関する異なる項目を、関連サブ・ファンドの通貨に換算する際に用いられる為替レートの変動によるものである。

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド
 新興国ハイインカム株式ファンド
 発行済受益証券口数および1口当たり純資産価格

	米ドル建 毎月分配型 クラスM 受益証券		分配型 クラスP 受益証券	分配型 クラスP A 受益証券
2022年12月31日現在				
発行済受益証券口数：	545,846.00口		53,008,649.93口	201,877.02口
通貨	米ドル	円	円	円
2022年12月31日現在				
1口当たり純資産価格：	11.95	1,596	1,549.00	5,305.00
2021年12月31日現在				
1口当たり純資産価格：	16.08	2,147	1,728.00	5,859.00
2020年12月31日現在				
1口当たり純資産価格：	15.95	2,130	1,479.00	4,966.00

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド

財務書類に対する注記

2022年12月31日現在

注1 一般事項

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド（以下「ファンド」という。）は、ルクセンブルグのアンブレラ型の契約型投資信託（Fonds Commun de Placement）である。ファンドは、共同保有者の利益のために運用される有価証券およびその他の資産を共有する共有持分型投資信託である。

ファンドは、2010年12月17日のルクセンブルグ法律（改訂済）パートII（以下「2010年法」という。）の規定により規制される投資信託（以下「UCI」という。）としての資格を有している。さらに、オルタナティブ投資ファンド運用者に関する2013年7月12日付の改訂済み法律（以下「AIFM法」という。）の意義の範囲内で、オルタナティブ投資ファンドとしての資格を有している。

2016年5月27日付のルクセンブルグの法律に従い、ファンドは、ルクセンブルグの商業記録簿にK961号として登録されている。

ファンドは、ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ、L-1855 ジェイ・エフ・ケネディ通り15番に登録事務所を有する、2010年法の第15章の意義の範囲内における管理会社であるピクテ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）エス・エイにより管理される。

AIFM法により、ファンドは公認のAIFMにより運用されなければならない。かかる法律の施行に照らして、2014年5月30日付で、ピクテ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）エス・エイがAIFMに任命された。

ピクテ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）エス・エイは、ルクセンブルグの商業記録簿にB51329として登録されている。

サブ・ファンドの活動

2022年12月31日現在、ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドには9本の運用中のサブ・ファンドが含まれている。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド、米ドル（米ドル）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カントリーズ・ソブリン・ファンド、日本円（日本円）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド、米ドル（米ドル）建て

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド、日本円（日本円）建て

重要な事象および重大な変更

2022年2月25日、以下のサブ・ファンドは、ロシアまたはベラルーシの証券に対して5%未満のエクスポージャーを有していた。

- グローバル・エマージング・ソブリン・ファンド
- リソース・リッチ・カンTRIES・ソブリン・ファンド
- 新興国ハイインカム株式ファンド

管理会社は、ロシアおよびベラルーシに対する既存のエクスポージャーならびにウクライナ/ロシア紛争の影響を厳密に監視している。特に、日次/週次の評価委員会およびリスク委員会の会合においては、現状を踏まえた意思決定を行っているが、これらの決定は、総合評価の変更による定期的な調整の対象となっている。

重要な検討事項には、これらに限定されない以下のものが含まれる。

- 直接的および間接的なエクスポージャーならびにサブ・ファンドにマイナスの影響を与える可能性が高いスピルオーバー効果
- 取引の可能性および信頼できる価格の入手可能性を考慮した市場ならびに資産評価
- ロシア紛争の結果として課された資本規制および制裁を考慮したポートフォリオ・コンプライアンス

ウクライナ/ロシアの現状を踏まえ、ロシアならびにベラルーシの証券は、市場、流動性および制裁などの事情から一時的にゼロと評価されている。

これは、現状の推移の結果、変化する可能性がある。

管理会社の取締役会は、ファンドの運営が継続企業として存続することを確認しており、現在の危機を慎重に追っている。

2022年12月31日現在、ロシア証券に対してエクスポージャーを有するサブ・ファンドは、新興国ハイインカム株式ファンド（ゼロと評価されている）のみである。

以下のクラス受益証券が、当期中に設定された。

サブ・ファンド	クラス	設定日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	クラスH Z スイス・フラン建て受益証券	2022/03/14

2022年2月に、新たな英文目論見書が効力発生となった。

クラス受益証券：

サブ・ ファンド	クラス受益証券	受益証券を他のクラス 受益証券に転換するこ とおよびその逆を行う ことができる。	年率0.01%の減じられ たルクセンブルグ申込 税を課される。	販売会社
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド				
	クラスP受益証券	非該当	非該当	S M B C日興証券株式会社（「日 本における主たる販売会社」）ま たは管理会社により承認されたそ の他の販売会社を通じて申込みを 行う投資家に対してのみ販売され る。
	クラスP A受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループに より販売されファンド・オブ・ ファンズまたは管理会社により承 認された機関投資家に対してのみ 販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド				
	クラスP分配型 受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループに より販売されるファンド・オブ・ ファンズまたは管理会社により承 認された機関投資家に対してのみ 販売される。
	クラスP Y分配型 受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループに より販売されるファンド・オブ・ ファンズまたは管理会社により承 認された機関投資家に対してのみ 販売される。
	クラスS T分配型 受益証券	非該当	該当	日本においてアセットマネジメン トOne株式会社により販売される ファンド・オブ・ファンズに対し てのみ販売される。
	クラスS A M分配型 受益証券	非該当	該当	日本において三井住友トラスト・ アセットマネジメント株式会社 により販売されるファンド・オブ・ ファンズに対してのみ販売され る。
	クラスH Zスイス・ フラン建て受益証券	非該当	該当	E U域外のピクテ・グループに属 し、管理会社により承認された法 人に対してのみ販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド				
	P分配型受益証券	非該当	非該当	三菱U F Jモルガン・スタンレー 証券株式会社を通じて申込みを行 う投資家に対してのみ販売され る。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド				
	クラスP分配型 受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループに より販売されるファンド・オブ・ ファンズまたは管理会社により承 認された機関投資家に対してのみ 販売される。

サブ・ファンド	クラス受益証券	受益証券を他のクラス受益証券に転換することおよびその逆を行うことができる。	年率0.01%の減じられたルクセンブルグ申込税を課される。	販売会社
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド				
	クラスP分配型受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売されるファンド・オブ・ファンズまたは管理会社により承認された機関投資家に対してのみ販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド				
	米ドル建 毎月分配型クラスM受益証券	非該当	非該当	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社を通じて申込みを行う投資家に対してのみ販売される。
	分配型クラスP受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売されるファンド・オブ・ファンズまたは管理会社により承認された機関投資家に対してのみ販売される。
	分配型クラスPA受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売されるファンド・オブ・ファンズまたは管理会社により承認された機関投資家に対してのみ販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カンTRIES・ソブリン・ファンド				
	クラスP分配型受益証券	非該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売されるファンド・オブ・ファンズまたは管理会社により承認された機関投資家に対してのみ販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド				
	(HP日本円) 日本円建て分配型受益証券 ⁽¹⁾	該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売され、かつ管理会社により承認されたファンド・オブ・ファンズに対してのみ販売される。
	(HPY日本円) 日本円建て分配型受益証券 ⁽¹⁾	該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売され、かつ管理会社により承認されたファンド・オブ・ファンズに対してのみ販売される。
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド				
	クラスP受益証券	該当	該当	日本においてピクテ・グループにより販売されるファンド・オブ・ファンズまたは管理会社により承認された機関投資家に対してのみ販売される。

(1) 当該クラスの目的は、当該クラスの通貨に対し、サブ・ファンドの投資有価証券にかかる為替リスクを大幅にヘッジすることである。

注2－重要な会計方針の要約

一般事項

財務書類は、ルクセンブルグにおいて一般に公正妥当と認められるUCIに関する会計原則および同国において適用される法定の報告要件に従い表示されている。

現行のファンドの目論見書に定められる通り、各クラス受益証券の純資産額は、各取引日に管理会社により決定される。各サブ・ファンドの取引日は以下の通りである。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンドについては、ルクセンブルグ、英国および日本における各銀行営業日ならびに日本における金融商品取引業者の営業日が取引日である。

以下のサブ・ファンズについては、ルクセンブルグ、英国および日本における各銀行営業日ならびにニューヨーク証券取引所の営業日が取引日である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンドについては、ルクセンブルグ、英国および日本における各銀行営業日、ならびに日本における証券会社の営業日が取引日である。

以下のサブ・ファンズについては、ルクセンブルグ、英国および日本における各銀行営業日が取引日である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カントリーズ・ソブリン・ファンド

以下のサブ・ファンドについては、ルクセンブルグ、英国、アメリカ合衆国および日本における各銀行営業日が取引日である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド

設立費用

設立費用は、最長5年間にわたり償却されている。

各サブ・ファンドの外国通貨換算

サブ・ファンドの基準通貨以外の通貨建てで表示される現金預金、その他の純資産および投資有価証券の時価評価額は、期末日現在の実勢為替レートでサブ・ファンドの基準通貨に換算される。

サブ・ファンドの基準通貨以外の通貨建てで表示される収益および費用は、取引日に適用される為替レートでサブ・ファンドの基準通貨に換算される。

発生する為替損益は、運用計算書および純資産変動計算書に計上される。

ファンドの結合財務書類

ファンドの結合財務書類は、ユーロで表示され、期末現在の実勢為替レートでユーロに換算される各サブ・ファンドの財務書類における項目の合計に等しい。

資産の評価

(1) 証券取引所に上場されている有価証券または他の規制ある市場で取引されている有価証券は、かかる取引所または市場における入手可能な最終の価格で評価される。有価証券が複数の証券取引所または市場で取引されている場合には、かかる有価証券の主要市場である証券取引所または

市場における入手可能な最終の価格により決定される。

- (2) 証券取引所に上場されていない有価証券または他の規制ある市場で取引されていない有価証券は、入手可能な直近の取引値で評価される。
- (3) 取引値が入手できない有価証券または(1)および/または(2)に記載される価格が公正な市場価格を反映していない有価証券は、管理会社の取締役会によって決定される合理的に予想される売却価格に基づき、慎重かつ誠実な立場から評価される。
- (4) 短期流動資産は、償却原価で評価される。
- (5) オープン・エンド型UCIの受益証券/株式は、入手可能な最終の純資産額に基づいて評価される。決定された価格がこれらの純資産の公正価値を反映していない場合には、公平かつ慎重な基準に従い、管理会社の取締役会によって価格が決定される。
- (6) 規制ある市場、EU域外の証券取引所または他の規制ある市場において上場または取引されていない、残存期間が12か月を超えない短期金融商品は、額面に経過利息を加えた額で評価され、その合計評価額は定額法に従って減価償却される。
- (7) クレジット・リンク債（「CLN」）は、CLNの発行日から2022年12月31日までの原債券の価格の推移（利含み価格で評価される）に基づき、CLNの発行日から2022年12月31日までの（原債券の通貨およびCLNの通貨間の）為替レートの推移を考慮して評価される。
- (8) 手元現金または現金預金、要求払債券および手形ならびに未収金、前払費用、宣言されたまたは発生済みであるが未受領の配当金および利息は、額面価額が入手可能でないと考えられる場合を除き、額面価額で構成される。額面価額が入手可能でないと考えられる場合には、かかる評価額は、これらの資産が適切に真価を反映していると管理会社の取締役が判断した金額を控除することにより決定される。

先物契約の評価

先物契約の評価は、入手可能な最終の価格に基づく。

差金決済取引（「CFD」）の評価

CFDは、原資産の評価日と取得日の価格間の差異に基づき、評価される。

先物契約およびCFDの認識

各純資産価額の計算において、先物契約およびCFDにかかる証拠金コールは、相手方の銀行口座による先渡契約関連の実現キャピタル・ゲインおよびロス勘定が直接計上される。

先物契約およびCFDの会計処理

先物契約およびCFDにかかる未実現評価利益および損失は、各未決済先物契約またはCFDの日々の時価評価額の増加/減少相当額の現金受領/支払いを通じて日々決済される。当該現金は、「現金預金」の項目で純資産計算書において計上され、それに対応する数字が「先渡契約にかかる実現純利益および損失」の項目で運用計算書および純資産変動計算書において計上される。

為替先渡契約の会計処理

未決済の為替先渡契約から発生する未実現純損益は、評価日において同日現在適用される先渡為替価格を基準に決定され、純資産計算書に計上される。

投資有価証券の売却にかかる実現純損益

投資有価証券の売却にかかる実現純損益は、売却投資有価証券の加重平均原価に基づき計算される。

投資有価証券の取得原価

サブ・ファンドの基準通貨以外の通貨建ての投資有価証券の取得原価は、取得日に適用される為替レートでサブ・ファンドの通貨に換算される。

収益

配当金は、落ち日に源泉徴税引後の金額で計上される。利息は、発生基準で純額で計上される。

分配金の支払い

管理会社は、サブ・ファンドまたはクラスに対する全ての当期利益および純実現キャピタル・ゲインから分配を宣言することができ、また、分配の合理的水準を維持するために必要な場合、関連するサブ・ファンドまたはクラスの未実現キャピタル・ゲインまたは資本からも分配を宣言することができる。各サブ・ファンドまたはクラスに適用される分配方針は、英文目論見書の関連別紙に記載される。

分配の水準は、予想投資純利益を超える場合もある。したがって、投資者は、投資者に対する分配にはある種の資本の払出し的要素が含まれており、かかる要素が関連するファンドのキャピタル・ゲインを上回った場合は、関連するサブ・ファンドの純資産価額を低下させることに留意すべきである。

分配の結果、ファンドの純資産価額がルクセンブルグの法律に定める最低額に満たなくなる場合には、分配は行われぬ。

支払期日から5年以内に請求されなかった分配金は、失効し、関連するサブ・ファンドまたはクラスに返戻される。

取引費用

取引費用は、投資有価証券の購入および売却に関連する各サブ・ファンドにより生じた費用を表す。これらの費用は、仲買手数料、銀行手数料、税金、保管受託報酬およびその他の取引費用を含み、2022年12月31日に終了した年度の運用計算書および純資産変動計算書に含まれる。

注3 一年次税

ルクセンブルグで施行されている法規に従い、ファンドは、源泉徴収またはその他の方法で徴収されるいかなるルクセンブルグの所得税またはキャピタル・ゲイン税も課せられない。しかしながら、ファンドの純資産は、各四半期末に支払われ、各四半期末のファンドの純資産に基づいて計算される年率0.05%のルクセンブルグの申込税を課せられる。法律の第174条(2)の意味における、機関投資家のために留保された株式に関連する資産、ならびに短期金融商品および信用機関への預金の集団投資を唯一の目的とするサブ・ファンドについては、この税率は0.01%に引き下げられる。

以下のサブ・ファンドは年次税を免除される：

- その証券が、少なくとも1つの株式市場または定期的取引が行われていて公認かつ公開の他の規制ある市場で上場または取引されている。
- その排他的な目的が、一または複数のインデックスの運用実績を複製することである。

サブ・ファンド内に複数の投資証券クラスが存在する場合、当該免除規定は、上記に規定された条件を満たすクラスにのみ適用される。

さらに、ルクセンブルグにおける他の投資信託の受益証券／株式に投資される純資産部分については、本年次税を免除される。ただし、かかる受益証券／株式が既に本年次税を課せられている場合に限る。

注4－管理報酬および投資運用報酬

管理会社は、各サブ・ファンドの資産から、各サブ・ファンド／クラスに帰属する平均純資産額を基準に以下の比例料率で計算される報酬を受領する権利を有する。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド：	
クラスP 受益証券：	年率0.75%
クラスP A 受益証券：	年率0.25%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド：	
クラスP 分配型受益証券：	年率0.35%
クラスP Y 分配型受益証券：	年率0.35%
クラスS T 分配型受益証券：	年率0.70%
クラスS AM 分配型受益証券：	年率0.70%
クラスH Z スイス・フラン建て受益証券：	年率0.00%*
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド：	
P 分配型受益証券：	年率0.70%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド：	
クラスP 分配型受益証券：	年率0.35%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド：	
クラスP 分配型受益証券：	年率0.30%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド：	
米ドル建 毎月分配型 クラスM 受益証券：	年率0.75%
分配型 クラスP 受益証券：	年率0.40%
分配型 クラスP A 受益証券：	年率0.25%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カンTRIES・ソブリン・ファンド：	
クラスP 分配型受益証券：	年率0.30%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド：	
（HP 日本円）日本円建て分配型受益証券：	年率0.35%
（HP Y 日本円）日本円建て分配型受益証券：	年率0.35%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド：	
クラスP 受益証券：	年率0.35%
* 2022年3月14日（設定日）から2022年12月31日までの期間。	

投資運用会社への報酬は、管理会社により負担される。

注5－販売報酬

日本における主たる販売会社は、後述のサブ・ファンドのそれぞれの資産から、関連四半期中のサブ・ファンド／クラスに帰属する平均純資産総額を基準に以下の比例料率で計算される四半期毎に支払われる報酬を受領する権利を有する。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド：

クラスP 受益証券：	年率0.65%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド：	
P 分配型受益証券：	年率0.50%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド	
米ドル建 毎月分配型クラスM 受益証券：	年率0.70%

注6－代行協会員報酬

代行協会員は、以下の比例料率により、かかるクラスに帰属する平均純資産総額を基準に計算される、対応するクラスP 受益証券および米ドル建 毎月分配型クラスM 受益証券の資産から四半期毎に支払われる報酬を受領する権利を有する。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド：	
クラスP 受益証券：	年率0.10%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド：	
P 分配型受益証券：	年率0.20%
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド	
米ドル建 毎月分配型クラスM 受益証券：	年率0.10%

これらは、運用計算書および純資産変動計算書において、「管理事務代行、業務、監査およびその他の費用」の項目に含まれる。

注7－その他の未払報酬

2022年12月31日現在、その他の未払報酬には、主に保管受託報酬、管理事務代行報酬、販売報酬および代行協会員報酬が含まれている。

注8－販売手数料および買戻手数料

販売手数料に加えて、1口当たり純資産価格の3%を上限とする、販売会社に対して支払われる申込手数料（加えて、もしあれば税金）も請求される。

以下については、申込手数料は課せられない。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	クラスP 分配型受益証券 クラスP Y 分配型受益証券 クラスS T 分配型受益証券 クラスS AM 分配型受益証券
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド	クラスP 分配型受益証券
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド	クラスP 分配型受益証券
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド	分配型 クラスP 受益証券 分配型 クラスP A 受益証券

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド ーリソース・リッチ・カントリーズ・ソブリン・ファンド	クラスP分配型受益証券
---	-------------

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド ーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド	すべてのクラスのサブ・ファンド
---	-----------------

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド ーダイナミック・アロケーション・ファンド	クラスP受益証券
---	----------

各サブ・ファンドの受益証券は、1口当たり純資産価格で買戻される。前述の買戻しに際し、買戻手数料は課せられない。

注9ー希薄化課金およびスウィング・プライシング

希薄化課金

英文目論見書では、希薄化課金機能を利用することが認められている。2022年12月31日に終了した年度中、希薄化課金機能は実施されていない。

スウィング・プライシング

アンブレラ・ファンドに対してスウィング・プライシング機能は施行されていない。

注10ー2022年12月31日現在の為替レート

2022年12月31日現在、以下の為替レートが、結合純資産計算書において、サブ・ファンドの純資産額をユーロに換算するために使用された。

1 ユーロ =	140.81839590	日本円
1 ユーロ =	1.06725032	米ドル

米ドル建て以外の通貨建ての投資証券クラスに関連する異なる項目を変換する際に、以下の為替レートが使用された。

1 米ドル =	0.92245000	スイスフラン
1 米ドル =	131.81491470	日本円

注11ー先渡契約

先物契約

ファンドは、2022年12月31日現在、以下の未決済の先物契約を有していた。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド

			満期日	通貨	日本円での残高
購入	68.00契約	Euro Stoxx Banks	2023/03/17	ユーロ	45,896,064.02
購入	7.00契約	FTSE 100 Index	2023/03/17	英ポンド	82,790,059.71
購入	19.00契約	MSCI Emerging Markets Index	2023/03/20	米ドル	119,879,780.31
購入	13.00契約	Russel 2000 Index	2023/03/17	米ドル	151,051,942.26
購入	10.00契約	S&P 500 Index	2023/03/17	米ドル	254,719,822.50
購入	41.00契約	TSE Bank Index	2023/03/10	日本円	79,388,300.00

注12ー為替先渡契約

下記の同一の通貨ペアにかかる為替先渡契約は合算されている。満期日までの年限が最長の契約のみが表示されている。

ファンドは、2022年12月31日現在、以下の未決済の為替先渡契約を有していた。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
スイス・フラン	10,798.92	日本円	1,556,972.00	2023/01/31

2022年12月31日現在のこの契約にかかる未実現純損失は、14,898.00円であり、純資産計算書に含まれている。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
人民元	2,860,000.00	米ドル	411,911.58	2023/02/03
米ドル	381,177.41	人民元	2,665,791.00	2023/01/30

2022年12月31日現在のこれらの契約にかかる未実現純損失は、316,571.00円であり、純資産計算書に含まれている。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カントリーズ・ソブリン・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
チリ・ペソ	390,152,838.00	米ドル	449,266.41	2023/01/17
インドネシア・ルピア	36,809,348,386.00	米ドル	2,363,012.48	2023/02/06
日本円	7,211,126.00	米ドル	53,793.97	2023/01/04
メキシコ・ペソ	19,926,183.00	米ドル	1,002,109.87	2023/01/17
ペルー・ヌエボ・ソル	753,110.00	米ドル	193,410.82	2023/01/30
米ドル	1,118,407.80	ブラジル・リアル	5,824,726.00	2023/02/02
米ドル	402,079.24	チリ・ペソ	348,000,000.00	2023/01/17
米ドル	446,188.02	インドネシア・ルピア	7,000,690,000.00	2023/01/03
米ドル	416,254.38	メキシコ・ペソ	8,300,000.00	2023/01/17
米ドル	1,211,971.34	マレーシア・リンギット	5,244,200.00	2023/01/18

2022年12月31日現在のこれらの契約にかかる未実現純利益は、7,852,960.00円であり、純資産計算書に含まれている。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
日本円	28,092,151,402.00	米ドル	210,856,126.97	2023/01/31
米ドル	49,611.74	ブラジル・リアル	264,000.00	2023/01/27
米ドル	4,163,914.90	カナダ・ドル	5,673,663.00	2023/01/27

米ドル	2,199,061.19	人民元	15,294,000.00	2023/01/31
米ドル	4,824,433.96	デンマーク・クローネ	33,691,449.00	2023/01/27
米ドル	32,956,136.51	ユーロ	30,930,178.86	2023/01/27
米ドル	15,016,076.88	英ポンド	12,322,653.00	2023/01/27
米ドル	1,513,863.03	香港ドル	11,789,773.00	2023/01/30
米ドル	3,367,641.57	日本円	458,956,000.00	2023/01/04
米ドル	1,110,070.25	サウジアラビア・リヤル	4,184,694.00	2023/01/30
米ドル	1,744,250.11	UAEディルハム	6,411,000.00	2023/01/27

2022年12月31日現在、これらの契約にかかる未実現純利益は2,895,310.60米ドルであり、純資産計算書に含まれている。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド

通貨	購入	通貨	売却	満期日
日本円	24,705,016.00	カナダ・ドル	250,000.00	2023/01/27
日本円	40,118,288.00	ユーロ	280,000.00	2023/01/27
日本円	41,619,880.00	英ポンド	250,000.00	2023/01/27
日本円	1,419,953,980.00	米ドル	10,545,000.00	2023/01/27
米ドル	251,379.18	ユーロ	236,000.00	2023/01/27

2022年12月31日現在のこれらの契約にかかる未実現純利益は、38,122,645.00円であり、純資産計算書に含まれている。

注13—分配金の支払

2022年12月31日に終了した年度中、以下の分配金が支払われた。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスP分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり50円
2022年2月	1口当たり50円
2022年3月	1口当たり50円
2022年4月	1口当たり50円
2022年5月	1口当たり50円
2022年6月	1口当たり50円
2022年7月	1口当たり40円
2022年8月	1口当たり40円
2022年9月	1口当たり40円
2022年10月	1口当たり40円
2022年11月	1口当たり40円
2022年12月	1口当たり40円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド クラスST分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり40円
2022年2月	1口当たり40円

2022年3月	1口当たり40円
2022年4月	1口当たり40円
2022年5月	1口当たり40円
2022年6月	1口当たり40円
2022年7月	1口当たり40円
2022年8月	1口当たり40円
2022年9月	1口当たり40円
2022年10月	1口当たり40円
2022年11月	1口当たり40円
2022年12月	1口当たり40円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・
 ファンド クラスSAM分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり35円
2022年2月	1口当たり35円
2022年3月	1口当たり35円
2022年4月	1口当たり35円
2022年5月	1口当たり35円
2022年6月	1口当たり35円
2022年7月	1口当たり35円
2022年8月	1口当たり35円
2022年9月	1口当たり35円
2022年10月	1口当たり35円
2022年11月	1口当たり35円
2022年12月	1口当たり35円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド P分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり0.03米ドル
2022年2月	1口当たり0.03米ドル
2022年3月	1口当たり0.03米ドル
2022年4月	1口当たり0.03米ドル
2022年5月	1口当たり0.03米ドル
2022年6月	1口当たり0.03米ドル
2022年7月	1口当たり0.03米ドル
2022年8月	1口当たり0.03米ドル
2022年9月	1口当たり0.03米ドル
2022年10月	1口当たり0.03米ドル
2022年11月	1口当たり0.03米ドル
2022年12月	1口当たり0.03米ドル

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド ク
 ラスP分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり20円
2022年2月	1口当たり20円

2022年3月	1口当たり20円
2022年4月	1口当たり20円
2022年5月	1口当たり20円
2022年6月	1口当たり20円
2022年7月	1口当たり20円
2022年8月	1口当たり20円
2022年9月	1口当たり20円
2022年10月	1口当たり20円
2022年11月	1口当たり20円
2022年12月	1口当たり20円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド
クラスP分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり15円
2022年2月	1口当たり15円
2022年3月	1口当たり15円
2022年4月	1口当たり15円
2022年5月	1口当たり15円
2022年6月	1口当たり15円
2022年7月	1口当たり15円
2022年8月	1口当たり15円
2022年9月	1口当たり15円
2022年10月	1口当たり15円
2022年11月	1口当たり15円
2022年12月	1口当たり15円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド 米ドル建 毎
月分配型 クラスM受益証券：

2022年1月	1口当たり0.10米ドル
2022年2月	1口当たり0.10米ドル
2022年3月	1口当たり0.10米ドル
2022年4月	1口当たり0.10米ドル
2022年5月	1口当たり0.10米ドル
2022年6月	1口当たり0.10米ドル
2022年7月	1口当たり0.10米ドル
2022年8月	1口当たり0.10米ドル
2022年9月	1口当たり0.10米ドル
2022年10月	1口当たり0.10米ドル
2022年11月	1口当たり0.10米ドル
2022年12月	1口当たり0.10米ドル

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド 分配型 クラ
スP受益証券：

2022年1月	1口当たり7円
2022年2月	1口当たり7円
2022年3月	1口当たり7円
2022年4月	1口当たり7円
2022年5月	1口当たり7円
2022年6月	1口当たり7円
2022年7月	1口当たり7円
2022年8月	1口当たり7円
2022年9月	1口当たり7円
2022年10月	1口当たり7円
2022年11月	1口当たり7円
2022年12月	1口当たり7円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド 分配型 クラスPA受益証券：

2022年1月	1口当たり20円
2022年2月	1口当たり20円
2022年3月	1口当たり20円
2022年4月	1口当たり20円
2022年5月	1口当たり20円
2022年6月	1口当たり20円
2022年7月	1口当たり20円
2022年8月	1口当たり20円
2022年9月	1口当たり20円
2022年10月	1口当たり20円
2022年11月	1口当たり20円
2022年12月	1口当たり20円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カントリーズ・ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり16円
2022年2月	1口当たり16円
2022年3月	1口当たり16円
2022年4月	1口当たり16円
2022年5月	1口当たり16円
2022年6月	1口当たり16円
2022年7月	1口当たり16円
2022年8月	1口当たり16円
2022年9月	1口当たり16円
2022年10月	1口当たり16円
2022年11月	1口当たり16円
2022年12月	1口当たり16円

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・

カレンシー・ヘッジド・ファンド クラス（HP 日本円） 日本円建て分配型受益証券：

2022年1月	1口当たり30円
2022年2月	1口当たり30円
2022年3月	1口当たり30円
2022年4月	1口当たり30円
2022年5月	1口当たり30円
2022年6月	1口当たり30円
2022年7月	1口当たり30円
2022年8月	1口当たり30円
2022年9月	1口当たり30円
2022年10月	1口当たり30円
2022年11月	1口当たり30円
2022年12月	1口当たり30円

注14－投資対象売却にかかる実現純利益／（損失）の詳細

2022年12月31日に終了した年度中の投資対象売却にかかる実現純利益／（損失）の詳細については、以下の通りであった。

		実現利益	実現（損失）	実現純利益／ （損失）
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド	日本円	565,427,456.00	(350,255,591.00)	215,171,865.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	日本円	61,019,207,302.00	(3,453,944,881.00)	57,565,262,421.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド	米ドル	1,234,368.80	(212,470.33)	1,021,898.47
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド	日本円	429,516,752.00	(14,200,426.00)	415,316,326.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド	日本円	42,481,776.00	(268,040,318.00)	(225,558,542.00)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド	日本円	16,580,495,278.00	(9,443,756,274.00)	7,136,739,004.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カンTRIES・ソブリン・ファンド	日本円	827,926,011.00	(1,448,363,709.00)	(620,437,698.00)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド	米ドル	67,902,482.75	(22,777,504.58)	45,124,978.17

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド	日本円	692,120,546.00	(262,972,151.00)	429,148,395.00
---	-----	----------------	------------------	----------------

注15ー投資対象にかかる未実現純評価利益／（損失）の変動の詳細

2022年12月31日に終了した年度中の投資対象にかかる未実現純評価利益／（損失）の変動の詳細については、以下の通りである。

		未実現評価利益の変動：	未実現評価（損失）の変動：	未実現純評価利益／（損失）の変動：
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー日興ピクテ・グローバル・グローイング・マーケット・ファンド	日本円	284,962,039.00	(233,999,714.00)	50,962,325.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ファンド	日本円	93,683,560,588.39	(55,725,497,047.39)	37,958,063,541.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー好配当世界公共株ファンド	米ドル	717,370.66	(2,807,258.87)	(2,089,888.21)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・インカム・ストック・ファンド	日本円	193,530,128.00	(277,370,781.00)	(83,840,653.00)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・エマージング・ソブリン・ファンド	日本円	212,659,619.00	(90,748,754.00)	121,910,865.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド	日本円	3,939,850,642.00	(22,026,949,672.00)	(18,087,099,030.00)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーリソース・リッチ・カンントリーズ・ソブリン・ファンド	日本円	1,102,009,676.00	(475,425,665.00)	626,584,011.00
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド	米ドル	4,488,356.53	(27,436,974.90)	(22,948,618.37)
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーダイナミック・アロケーション・ファンド	日本円	22,460,222.00	(565,587,604.00)	(543,127,382.00)

注16ー後発事象

当年度末以降に生じた重要な事象はなかった。

(3) 投資有価証券明細表等

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド
投資有価証券およびその他の純資産明細表

2022年12月31日現在

(単位：日本円)

銘柄	通貨	数量	時価 (注2)	純資産 に対する 比率%
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券				
株式				
ブラジル				
B3 - BRASIL BOLSA BALCAO	ブラジル・ レアル	3,105,000.00	1,024,036,920.00	1.22
BANCO DO BRASIL	ブラジル・ レアル	1,675,000.00	1,452,348,323.00	1.73
CAIXA SEGURIDADE PARTICIPACOES	ブラジル・ レアル	6,394,300.00	1,333,001,617.00	1.59
PETROBRAS PFD	ブラジル・ レアル	2,719,300.00	1,663,314,601.00	1.98
TIM	ブラジル・ レアル	4,188,200.00	1,296,582,902.00	1.54
VALE	ブラジル・ レアル	1,012,600.00	2,246,948,724.00	2.67
			9,016,233,087.00	10.73
ケイマン諸島				
GREENTOWN MANAGEMENT HOLDINGS - S- 144A	香港ドル	2,577,000.00	261,435,099.00	0.31
MINTH GROUP	香港ドル	3,570,000.00	1,276,664,587.00	1.52
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	香港ドル	664,000.00	194,901,878.00	0.23
TOPSPORTS INTERNATIONAL HOLDINGS 'S' 144A	香港ドル	20,878,000.00	2,185,132,448.00	2.60
			3,918,134,012.00	4.66
中国				
ANHUI CONCH CEMENT 'H'	香港ドル	2,079,000.00	959,655,508.00	1.14
BANK OF CHINA 'H'	香港ドル	24,983,100.00	1,199,673,015.00	1.43
CHINA CONSTRUCTION BANK 'H'	香港ドル	26,705,000.00	2,208,003,031.00	2.63
CHINA MERCHANTS BANK 'H'	香港ドル	3,163,500.00	2,334,803,366.00	2.77
CHINA VANKE 'H'	香港ドル	5,010,300.00	1,338,502,053.00	1.59
GREE ELECTRICAL APPLIANCES 'A'	人民元	1,988,709.00	1,226,017,808.00	1.46
INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA 'H'	香港ドル	19,859,590.00	1,349,878,112.00	1.61
MIDEA GROUP 'A'	人民元	1,333,600.00	1,317,678,724.00	1.57
PING AN INSURANCE 'H'	香港ドル	2,320,500.00	2,026,516,399.00	2.41
ZHEJIANG EXPRESSWAY 'H'	香港ドル	12,156,700.00	1,235,345,380.00	1.47
ZIJIN MINING GROUP 'H'	香港ドル	8,304,000.00	1,485,495,129.00	1.77
			16,681,568,525.00	19.85

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド－新興国ハイインカム株式ファンド
 投資有価証券およびその他の純資産明細表（続き）
 2022年12月31日現在
 （単位：日本円）

銘柄	通貨	数量	時価 (注2)	純資産 に対する 比率%
ギリシャ MOTOR OIL (HELLAS) CORINTH REFINERIES SA	ユーロ	369,027.00	1,125,219,822.00	1.34
			1,125,219,822.00	1.34
インド EMBASSY OFFICE PARKS REIT HCL TECHNOLOGIES LIMITED - DEMAT. -	インド・ルピー	1,492,900.00	799,348,681.00	0.95
	インド・ルピー	952,722.00	1,577,643,114.00	1.88
			2,376,991,795.00	2.83
インドネシア PT BANK MANDIRI	インドネシア・ ルピア	12,594,300.00	1,058,314,197.00	1.26
TELEKOMUNIKASI INDONESIA 'B'	インドネシア・ ルピア	21,315,000.00	676,747,526.00	0.81
			1,735,061,723.00	2.07
メキシコ ARCA CONTINENTAL	メキシコ・ペソ	595,400.00	640,577,122.00	0.76
COCA-COLA FEMSA -UNITS-	メキシコ・ペソ	748,285.00	680,434,540.00	0.81
CORPORACION INMOBILIARIA VESTA	メキシコ・ペソ	2,894,100.00	902,065,681.00	1.07
GFNORTE FINANCIERO BANORTE 'O'	メキシコ・ペソ	1,905,200.00	1,846,307,961.00	2.20
VISTA ENERGY 'A' -ADR SPONS. -	米ドル	251,090.00	515,492,114.00	0.61
			4,584,877,418.00	5.45
ルーマニア FONDUL PROPRIETATEA GDR -SPONS. -	米ドル	254,105.00	723,488,306.00	0.86
			723,488,306.00	0.86
ロシア GAZPROM *	ロシア・ ルーブル	2,670,030.00	0.00	0.00
LUKOIL ADR -SPONS. - *	米ドル	108,655.00	0.00	0.00
SBERBANK PFD *	ロシア・ ルーブル	2,426,369.00	0.00	0.00
TATNEFT *	米ドル	725,664.00	0.00	0.00
			0.00	0.00
サウジアラビア RIYADH CABLES GROUP COMPANY	サウジアラビア・ リヤル	441,397.00	561,235,532.00	0.67
SAUDI ARABIAN OIL	サウジアラビア・ リヤル	1,094,869.00	1,232,749,862.00	1.47
THE SAUDI NATIONAL BANK	サウジアラビア・ リヤル	1,038,563.00	1,839,636,405.00	2.19
			3,633,621,799.00	4.33

* 注1を参照のこと。

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド－新興国ハイインカム株式ファンド
投資有価証券およびその他の純資産明細表（続き）
2022年12月31日現在
（単位：日本円）

銘柄	通貨	数量	時価 (注2)	純資産 に対する 比率%
スロベニア				
NOVA LJUBLJANSKA BANKA GDR - SPONS. -	ユーロ	130,645.00	232,865,577.00	0.28
			232,865,577.00	0.28
南アフリカ				
GOLD FIELDS	南アフリカ・ ランド	578,341.00	793,126,032.00	0.94
JSE LIMITED	南アフリカ・ ランド	817,342.00	690,222,372.00	0.82
NEDBANK GROUP	南アフリカ・ ランド	137,788.00	228,039,130.00	0.27
SIBANYE STILLWATER	南アフリカ・ ランド	4,888,657.00	1,702,028,930.00	2.02
			3,413,416,464.00	4.05
韓国				
CHEIL WORLDWIDE	韓国ウォン	356,057.00	862,160,531.00	1.03
HYUNDAI MOTOR PFD II	韓国ウォン	195,361.00	1,516,631,204.00	1.80
KB FINANCIAL	韓国ウォン	251,724.00	1,282,519,692.00	1.53
MACQUARIE KOREA INFRASTRUCTURE	韓国ウォン	810,075.00	940,340,598.00	1.12
SAMSUNG ELECTRONICS PFD	韓国ウォン	989,541.00	5,249,559,356.00	6.23
SHINHAN FINANCIAL GROUP	韓国ウォン	377,620.00	1,396,353,348.00	1.66
SK TELECOM	韓国ウォン	171,382.00	853,377,578.00	1.02
SKSQUARE	韓国ウォン	210,465.00	741,771,405.00	0.88
S-OIL	韓国ウォン	119,794.00	1,049,539,520.00	1.25
			13,892,253,232.00	16.52
台湾				
ACCTON TECHNOLOGY	ニュー台湾ドル	662,000.00	665,771,481.00	0.79
ASE TECHNOLOGY HOLDINGS	ニュー台湾ドル	1,645,000.00	662,454,182.00	0.79
CHAILEASE HOLDING COMPANY	ニュー台湾ドル	1,552,215.00	1,444,561,251.00	1.72
CHICONY ELECTRONICS	ニュー台湾ドル	2,820,000.00	1,043,720,600.00	1.24
CHROMA ATE	ニュー台湾ドル	1,431,145.00	1,110,929,665.00	1.32
GETAC HGS	ニュー台湾ドル	3,057,000.00	578,829,288.00	0.69
NANYA TECHNOLOGY	ニュー台湾ドル	5,467,000.00	1,200,448,094.00	1.43
NOVATEK MICROELECTRONICS	ニュー台湾ドル	750,000.00	1,014,810,561.00	1.21
TAIWAN SEMICONDUCTOR ADR - SPONS. -	米ドル	168,605.00	1,649,513,801.00	1.96
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	ニュー台湾ドル	1,712,000.00	3,292,991,117.00	3.91
TRIPOD TECHNOLOGY	ニュー台湾ドル	1,932,000.00	778,859,869.00	0.93
			13,442,889,909.00	15.99
タイ				
TISCO FINANCIAL GROUP -NVDR-	タイバーツ	3,020,590.00	1,140,963,017.00	1.36
			1,140,963,017.00	1.36

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー新興国ハイインカム株式ファンド
 投資有価証券およびその他の純資産明細表（続き）
 2022年12月31日現在
 （単位：日本円）

銘柄	通貨	数量	時価 (注2)	純資産 に対する 比率%
<hr/>				
アラブ首長国連邦				
ADNOC DRILLING 144A/S	UAEディルハム	8,357,254.00	893,850,460.00	1.06
DUBAI ELECTRICITY & WATER	UAEディルハム	8,882,966.00	739,658,048.00	0.88
EMAAR DEVELOPMENT	UAEディルハム	5,571,158.00	881,797,914.00	1.05
EMIRATES CENT COOLING SYSTEMS	UAEディルハム	5,806,367.00	295,922,392.00	0.35
EMIRATES NBD	UAEディルハム	2,496,831.00	1,164,977,405.00	1.39
FERTIGLOBE 144A/S	UAEディルハム	5,146,655.00	781,358,654.00	0.93
SALIK COMPANY REG. S	UAEディルハム	7,586,810.00	675,298,665.00	0.80
			<hr/> 5,432,863,538.00	<hr/> 6.46
ベトナム				
VIETNAM DAIRY PRODUCT	ベトナム・ドン	2,454,640.00	1,044,489,382.00	1.24
			<hr/> 1,044,489,382.00	<hr/> 1.24
投資有価証券合計			82,394,937,606.00	98.02
現金預金			1,521,684,919.00	1.81
その他の純資産			145,581,585.00	0.17
純資産合計			84,062,204,110.00	100.00

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド－新興国ハイインカム株式ファンド
 投資有価証券の地域別分類および業種別分類
 2022年12月31日現在
 (純資産に対する比率%)

地 域 別 分 類		業 種 別 分 類	
中国	19.85	電子技術および電子設備	23.07
韓国	16.52	銀行および金融機関	17.76
台湾	15.99	持株および金融会社	10.61
ブラジル	10.73	石油	6.46
アラブ首長国連邦	6.46	不動産関連銘柄	4.66
メキシコ	5.45	通信	4.40
ケイマン諸島	4.66	保険	4.00
サウジアラビア	4.33	自動車	3.32
南アフリカ	4.05	ステンレス・スチール	2.67
インド	2.83	小売りおよびスーパーマーケット	2.60
インドネシア	2.07	交通および運送	2.50
タイ	1.36	化学	2.18
ギリシャ	1.34	インターネット、ソフトウェアおよび	1.88
ベトナム	1.24	I Tサービス	
ルーマニア	0.86	鉱業および鋼鉄製品	1.77
スロベニア	0.28	金融サービス	1.72
ロシア	0.00	コンピューターおよび事務機器	1.48
	98.02	建設および建築資材	1.45
		食品およびその他の農産食品	1.24
		貴金属および宝石	0.94
		公益事業	0.88
		金融	0.86
		食品および清涼飲料	0.81
		包装	0.76
		石油およびガス	0.00
			98.02

添付の注記は、本財務書類と不可分一体である。

IV. お知らせ

- ファンドの保管受託銀行は、2023年5月26日付で、ピクテ・アンド・シー（ヨーロッパ） エス・エイ からバンク・ピクテ・アンド・シー（ヨーロッパ） エイ・ジー、ルクセンブルグ支店に変更されました。

- 投資方針について以下の追加があります。

管理会社は、ポートフォリオ運用に関する判断、アクティブ・オーナーシップ活動および問題となる行為または活動に関与する発行体の除外を組み合わせることにより、ファンドによる投資が社会および環境に及ぼす悪影響を考慮し、また可能な場合はこれを軽減する。

各ファンドに応じて、当該ファンドのポートフォリオにおいて管理会社が焦点を当てる主要な悪影響（PAI）は、企業の非人道的兵器および化石燃料に対するエクスポージャーならびに国際連合グローバル・コンパクトの原則の違反を含む（がこれに限られない）。

データの利用が可能な場合には、管理会社は、金融サービスセクターにおけるサステナビリティ関連の開示に関する規則（EU）2019/2088により提案された必須の指標を網羅するよう努めるとともに、ファンドの投資による悪影響を前述の指標およびメトリクスを用いて毎年報告するよう最大限の努力を尽くすことを確約する。